

6 病棟 A R P

アルコール・リハビリテーション・プログラム

のご案内



希望ヶ丘ホスピタル

<この冊子を手にとってくださったあなたへ>

今、これを読まれている方の多くはきっと、「お酒を減らした方がいいかな」「お酒をやめないといけないかな」というお気持ちが心のどこかにあって、この冊子を手にしてくださっていることと思います。

ARPではお酒について、依存症について、そしてこれからのあなたについて学んだり考えたりすることができます。

ぜひプログラムを通して私たちと一緒に考えていきましょう。

<ARPで行うこと>

◎お酒を呑まないで規則正しい生活を送ることで、心身の健康を図ります。

◎ミーティングや断酒会に参加し、お酒の影響や依存症について理解を深め、これまでの自分を振り返ります。

◎作業療法に参加し、頭や体のリハビリを行います。

※上記の日課に加え、主治医の診察、臨床心理士による心理検査や面接、精神保健福祉士との面接など、ご自身と向き合う機会がたくさん用意されています。ぜひ、いろいろな医療スタッフとお話をしてみてください。

プログラム参加にあたっての注意事項

●日課への参加は時間厳守をお願いします

作業療法、ミーティング等の日課はプログラムの中心となるものです。これらの日課に時間を守って参加していただけないとプログラム自体の意味がなくなってしまうかもしれません。日課に参加する意味や目的は人によって少しずつ違うかもしれませんが、ご自分なりの参加目的や意味を見つけて毎日参加してみましましょう。

プログラムの期間は4週間の予定ですが、ご自身の意思による中断は可能です。

●暴言、暴力、器物破損等の行為にはご注意ください

私たちはプログラムの中で『対話』を大切にしています。しかし上記の行為があると、残念ながら対等な立場で話し合っていくことが難しくなります。また、他の患者さんの安心感を守ることもスタッフとして非常に大切なことですので、他の患者さんに対して同様の行為があった場合にも入院を継続していただくことができなくなる場合がありますので、ご注意ください。

ご協力よろしくお願い致します。



※なお、諸事情により内容、期間等を変更することもあります。ご了承ください。

